

警察庁によると、パソコン（PC）やスマートフォンを使って振り込みなどを行うインターネットバンキングで、パスワードを盗まれて不正送金された額は、2015年に約30億7300万円で過去最悪でした。

全国銀行協

会によると、犯罪者の手口は、大きく分けて二つで①偽メールを送りつけ、不正サイトへ誘導する「フィッシング」②PCに入り込んで不正なポップアップ画面を表示させるなどし

ネットバンキング犯罪に注意

て暗証番号を盗む「ウイルス感染」——です。

被害を防ぐには、PCの基本ソフト（OS）やウイルス対策ソフトを最新の状態にしておくことが大切です。

怪しいメールが届いたら開かず
削除し、誤って

情報を入力した場合は、すぐに銀行へ連絡し、口座凍結を依頼してください。被害に遭ったら近くの警察署に相談しましょう。

防犯一口メモ